

第2章 計画の基本的な考え方

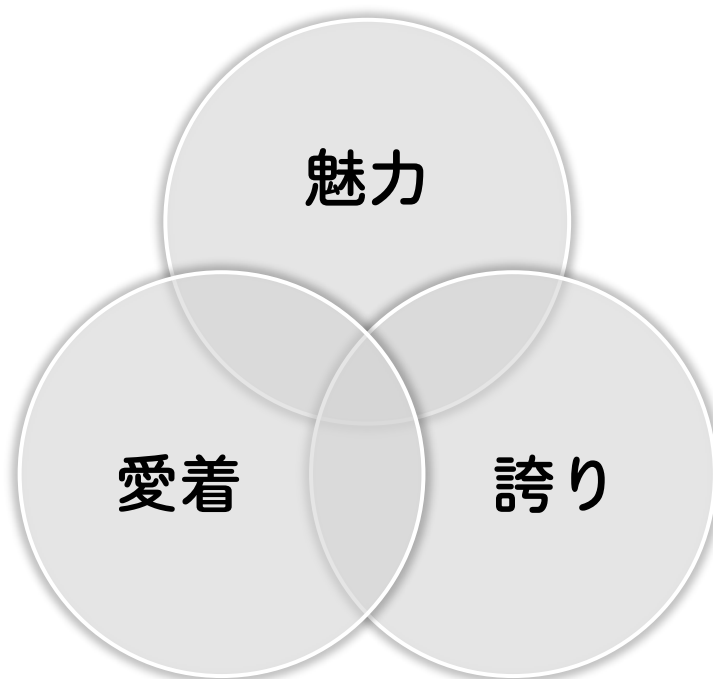
- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 基本的視点
- 4 文化芸術振興の概念図
- 5 施策体系

1 基本理念

文化芸術は、私達の生活に豊かさと潤いをもたらすと同時に、まちの魅力や活力を創出します。本市は、「水と緑と大地」の素晴らしい自然に恵まれ、地域の文化財や伝統文化を守り育ててきました。しかし多様な価値観が共存し、急速に進展する情報化社会にあっては、豊かさと潤いをもたらす社会を実現するために、私達の国や地域が守り、育ててきた固有の文化を誇りに思い、大切にしていくことが重要です。

本市は、自主的で個性的な文化芸術活動を支援するとともに、その担い手である市民の意見が反映され「魅力」「愛着」「誇り」を持って文化芸術活動ができる環境を醸成し、心豊かな人づくり、まちづくりを目指します。

心豊かで活気のあるくらしやすい「文化都市小山」



2 基本目標

(1)「文化芸術活動の推進」～ 市民文化 ～

市民一人ひとりが、文化の担い手であることを認識し、その自主性と創造性を尊重します。そのために、文化芸術活動を行う市民の意見を反映し、文化芸術が市民の身近なものとなるよう十分な配慮を図ります。

また、多彩な文化芸術活動の中心となる各種文化団体等の育成を図り、小山市民の文化芸術に対する意識の高揚と醸成に努めます。

さらに、様々な市民文化をさらに発展させるため、市民の主体的な芸術文化活動を促進するとともに、豊かで活力のある「小山らしさ」があふれる文化の創造に向けて、文化芸術の振興を図ります。

◇ハンドベルフェスタ in OYAMA◇



（２）「歴史的文化の継承と活用」～ 歴史文化 ～

市民が先人たちの文化の豊かさに気づき、郷土への思いを強めて「市民一人ひとりが豊かな歴史や文化の継承者である」との自覚を持ち、誇りを持ってこれらを後世に伝えていこうとする心を育てます。

そのために、本市の貴重な文化遺産に関する調査研究で蓄積された情報を公開・提示し、身近にある豊かな歴史や文化財の存在と意義を積極的に伝えます。

また、小山評定や祇園城跡などを手掛かりとして「ふるさとおやま」への愛着、誇りを深めるため、文化財の保存と一層の有効活用を図り、次代に小山の歴史・文化を継承し、これらを生かしたまちづくりの創造と発信を推進します。

◇史跡 小山評定跡◇



3 基本的視点

(1) 地域の伝統や独自性を生かした視点

本市には、長い歴史の中で培われた有形・無形の文化財や伝統芸能など地域固有の文化が息づいています。これら文化を掘り起こし、再評価し、保存・継承・発展させるとともに、地域の独自性を生かした新たな文化を創造・発信し、多くの人々に親しまれる普遍性をもった文化に発展させていくことが重要です。

このように、これからの文化振興には、地域の個性やアイデンティティを確立していくことが大切です。

(2) 時代の変化を踏まえた視点

行政の地方分権化が進行する中、潤いのあるまちづくりを実現するためには、地域性豊かな文化をまちづくりの「顔」として捉え、これを発展させ、市内外に発信していく必要があります。

また、少子・高齢化の進展により、次世代の文化の担い手となる子供たちや若者を対象に、学校や地域で文化芸術にふれる機会を拡充するとともに、高齢者に対しても生きがいを持って暮らせるよう文化活動の充実を図る必要があります。

このように、時代や社会の変化とともに、人々の価値観やニーズも多様化することから、これらに対応していくことが求められています。

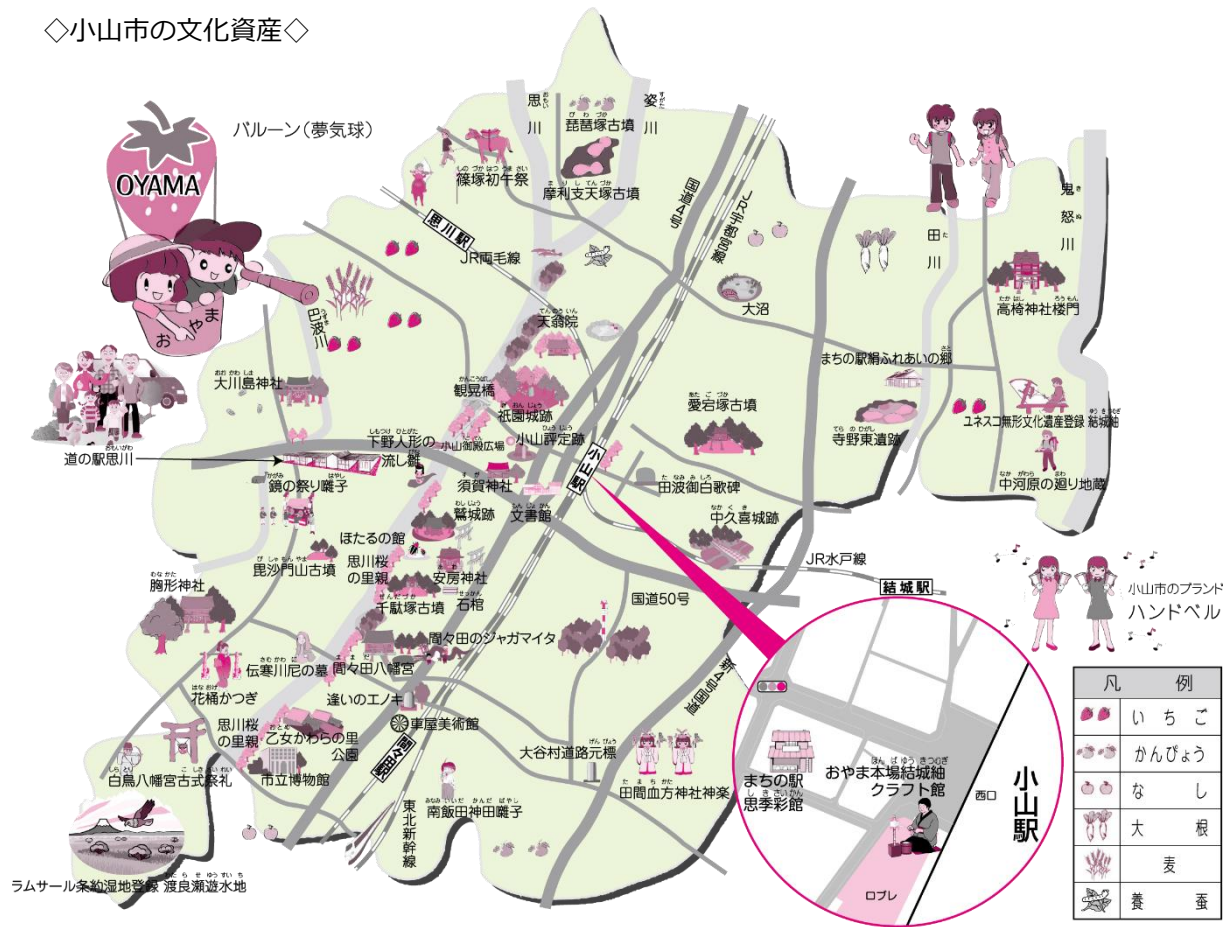
(3) 交流を活性化する視点

文化は、人と人との出会いや交流の中から生まれ、異なる文化と接することで、自らの文化を再認識し、新たな文化の創造へと発展していきます。

そのため、地域や世代、ジャンル等の枠を超え、芸術家相互や市民と芸術家との交流などさまざまな交流の機会を提供していく必要があります。

このように、本市の文化をさらに広がりと深みのあるものとするためには、交流活動を促進していくことが大切です。

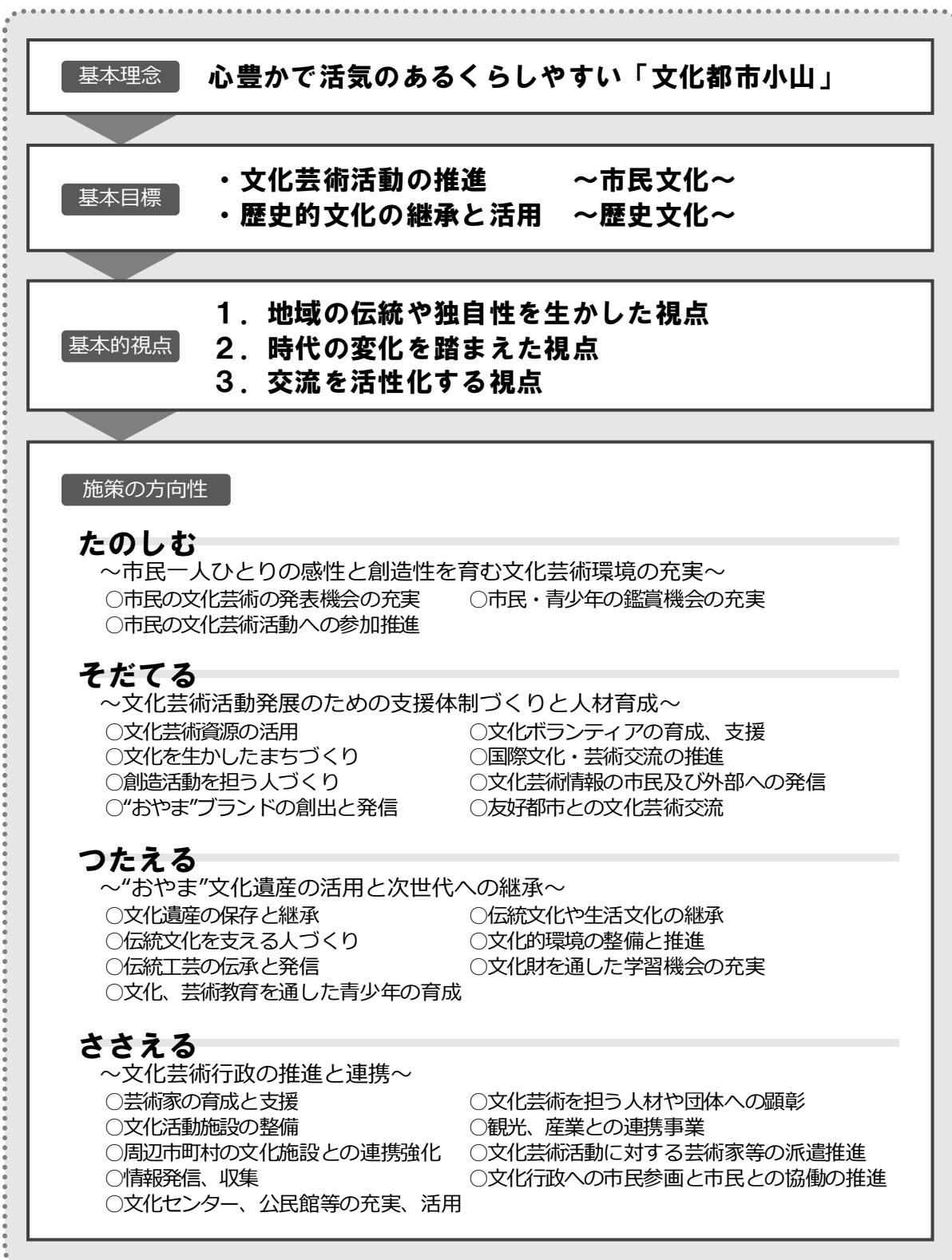
◇小山市の文化資産◇



◇思川河畔の政光・寒川尼像◇



4 文化芸術振興の概念図



5 施策体系

基本施策	具体的施策
1 多様な文化芸術活動の促進	1 子供に対する文化芸術鑑賞機会の拡充 2 文化芸術の公演や展示事業の多様化 3 市民主体の公演、展示会への有形・無形の行政の支援 4 市民の文化芸術活動と発表の機会の充実
2 文化芸術の担い手の育成	1 顕彰制度の確立 2 人材育成事業の拡充 3 文化芸術団体の運営・活動に対する支援の推進 4 学校教育・生涯学習との連携の推進
3 伝統文化の保護及び継承	1 文化遺産に関する専門的調査の推進 2 歴史の掘り起こし・記録・公開 3 文化財の保存と活用の推進 4 国登録文化財への推進 5 歴史や伝統文化の学習機会の充実
4 文化芸術交流の促進	1 世代間交流による伝統文化の継承支援 2 情報・人材・施設に関する情報提供 3 地域間交流及び国際交流等の促進
5 文化芸術を創造する環境づくり	1 歴史的景観の再発見と保護・活用に関する施策 2 文化施設の活用 3 文化芸術活動のための公共施設の活用

第2章 計画の基本的な考え方



◇小山市文化振興大会◇



◇文化協会 40 周年記念◇
「小山を彩る作家展」



◇市民文化祭◇